

釧路湿原川レンジャー News

2025 Vol.2

第1回「釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました！

第1回「釧路湿原川レンジャー学習会」を令和7年6月24日に開催し、19名の川レンジャーが参加しました。今回の学習会では、午前中は釧路町岩保木水門付近において、遠矢小学校の4・5年生と一緒に「花咲かじいさんプロジェクト」へ参加し、植樹後は過年度に植えた苗の成長観察を行いました。

午後からは釧路市立博物館において、講演の聴講後、館内見学をしました。



■「花咲かじいさんプロジェクト」の植樹活動に参加

「花咲かじいさんプロジェクト」による植樹は平成5年から実施しており、今回の植樹では、28のサークルのうち、4サークルを川レンジャーが担当しました。はじめに砂利のマルチング効果※や具体的な植樹の方法について児童たちと一緒に説明を受けた後、植樹を行いました。川レンジャーは植樹や記録、水やりなどを分担しながら効率よく作業を進めました。天候に恵まれ、少々暑い中での作業でしたが、強めの風が吹いていたこともあり、順調に作業が進みました。

今回の植樹でミズナラやカンボク、ミヤマザクラなど計29種、全体で280本の苗を植樹しました。

植樹後は過去に植樹した場所を見学しました。昨年植樹した苗と令和元年に植樹した苗を比べてみると成長の差は歴然で、「大きく成長している姿を見ると植樹活動にこれまで参加してきて良かったと思う」「来年も観察したい」と様々な声が聞かれました。

※砂利のマルチング効果：土の乾燥・土の流出・雑草などの防止の他、土の保温・保湿効果による根の保護



説明を受ける様子



観察活動の様子

釧路市立博物館での聴講、館内展示見学



講演いただいた野本学芸員

午後は釧路市立博物館において講演の聴講と館内展示の見学を行いました。

まず、野本学芸員より釧路川等に生息する魚類についてご紹介いただきました。映像資料を基に、川に住むウグイやアメマス、川と海とを行き来するシロザケなどについて解説していただきました。サケの雄は強さによって体の色を変えると教えていただくと、皆さん非常に驚いた様子でした。

次に加藤学芸員に解説いただきながら館内展示の見学を行いました。釧路湿原周辺の地形の模型を用いて、湿原の成り立ち、機能や場所によって生育している植物が異なっていることやその他の動植物などについて教えていただきました。精巧なジオラマ、実物の標本等の展示を解説付きで見学できたことで皆さんより理解を深められた様子でした。

川レンジャーからは今回、貴重なお話を伺ったので、今後の観察活動にぜひ役立てていきたいなどの声が多く聞かれました。



解説いただいた加藤学芸員

観察活動の報告

川レンジャーより観察活動の報告がありましたので、ご紹介します。観察活動は川レンジャー活動の柱であり、釧路湿原の河川環境維持に大変役立っています。今後も釧路湿原川レンジャーNewsで紹介していきます。右の二次元コードからも報告いただけますので、皆様からの報告をお待ちしております。



報告日	報告内容
2025年3月31日	二本松地区で仔ジカの死体を発見しました。近くでヒグマの目撃情報もありました。
2025年5月13日	瀕死のキタキツネを目撃しました。目立った外傷はありませんでした。高病原性鳥インフルエンザの哺乳類への感染が報告されているため、関係機関に連絡しました。
2025年5月13日	釧路大規模運動公園周辺の川でシマアジ(鳥)を確認しました。旅鳥と思われます。
2025年5月20日	釧路川沿いでタンチョウの親子を確認しました。毎年ヒナを返す優秀なつがいです。
2025年5月23日	昨日から南標茶地区でカッコウが鳴き出しました。
2025年6月2日	茅沼シラルトロでオジロワシがアオサギに追いかけている様子を目撃しました。
2025年6月3日	今シーズン初めてエゾセンニュウの声を聴きました。
2025年6月6日	湿原道路の歩道に空き缶・ペットボトルが捨てられていました。
2025年6月9日	散歩を兼ねて釧路川を見回りました。大きな異常はなく、ゴミを少し回収しました。
2025年6月12日	南標茶地区の河川堤防周囲の工事が順調に進んでいます。
2025年6月22日	アカエリカイツブリの抱卵を確認しました。無事孵化してくれるよう願いました。

